

製品名: CD3 ζ (リン酸化 Tyr142) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04398**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	CD247
別名	CD247; CD3Z; T3Z; TCRZ; T-cell surface glycoprotein CD3 zeta chain; T-cell receptor T3 zeta chain; CD antigen CD247
遺伝子 ID	919.0
SwissProt ID	P20963
免疫原	抗血清は、ヒト CD3 ゼータの Tyr142 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 111-160

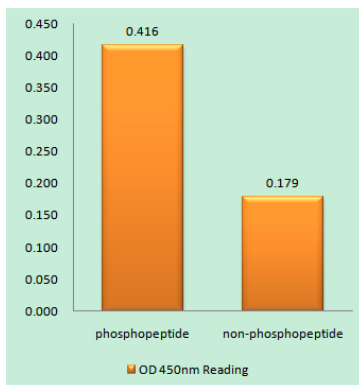
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質はT細胞受容体ζであり、T細胞受容体α/βおよびγ/δヘテロダイマー、そしてCD3-γ、-δ、-εとともにT細胞受容体-CD3複合体を形成する。ζ鎖は、抗原認識と複数の細胞内シグナル伝達経路を結びつける上で重要な役割を果たしている。抗原発現の低下は免疫応答の障害につながる。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq提供、2008年7月]、疾患：CD247の欠陥は、原発性T細胞免疫不全症[MIM:610163]の原因である。罹患した人は再発性感染症に苦しむ。患者のT細胞数は非常に少なく、B細胞数は正常です。ドメイン:ITAMドメインはSHBとの相互作用を媒介します。機能:TCR複合体の組み立てと発現、および抗原誘発時のシグナル伝達における役割が考えられます。オンライン情報:CD247変異db,PTM:T細胞受容体の誘発後にTyr残基がリン酸化されます。類似性:CD3Z/FCER1Gファミリーに属します。類似性:3つのITAMドメインが含まれます。サブユニット:Tリンパ球のTCR/CD3複合体は、γ、δ、ε、ζ、およびetaとラベルされたCD3の不変サブユニットとともに細胞表面で共発現されるTCRα/βまたはTCRγ/δヘテロダイマーで構成されます。CD3-ζは、CD3-etaとホモダイマーまたはヘテロダイマーを形成します。SLAおよびSLA2と相互作用します。DOCK2およびTRAT1と相互作用する。HIV-1 Nefタンパク質と相互作用する。SHBと相互作用する。

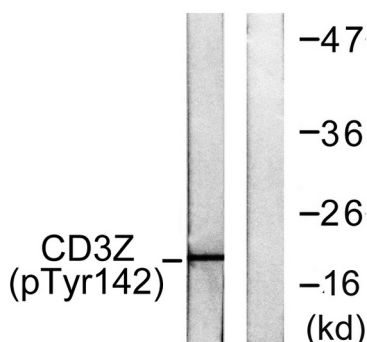
研究分野

ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害性T細胞受容体;

画像データ



CD3ゼータ（リン酸化Tyr142）抗体を用いたリン酸化ペプチド（リン酸化左）および非リン酸化ペプチド（リン酸化右）免疫原の酵素結合免疫吸着測定法（リン酸化ELISA）



UV 15 処理したJurkat細胞ライセートのCD3ゼータ（リン酸化Tyr142）抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。